

校長室だより
NO. 27
平成30年9月10日

すべては光る

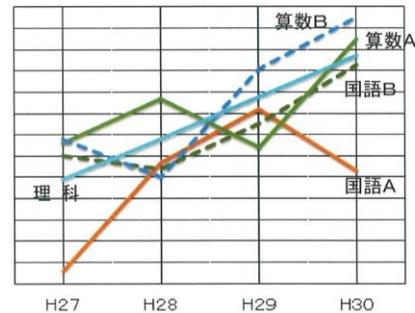
梅園小学校長
たか すりょうへい
高 須 亮 平

6年の全国学力・学習状況調査の結果は良好でした

6年生が4月17日(火)に行いました全国学力・学習状況調査の結果が公表され、7月末の新聞にも大きく取り上げられました。これまで全国の都道府県の状況等が問題になっていましたが、平均正答率は上位と下位の差が縮まり、もう順位を付ける意味がなくなってきているようです。全国的にはよい状況とされています。

さて、この調査項目と目的から説明します。教科は例年の国語・算数の2教科に加えて、今回は理科も実施されました。調査項目は、国語A(国語の基礎的な知識・技能の力)、国語B(国語で学習したことを活用する力)、算数A(算数の基礎的な知識・技能の力)、算数B(算数で学習したことを活用する力)、理科(全般)と、学習等にかかわる意識や実態を把握するもので、それらを授業改善に生かすことを目的として実施されています。あくまでも授業改善がねらいですので、岡崎市をはじめ多くの都道府県や市町村は、過度の競争や序列を避けることから、学校名を明らかにした数値の公表はしていません。

そのことを踏まえて、本校の6年生の学力・学習状況の概要についてお知らせします。まず、一般的な状況については、全国的に見てたいへんよくできていました。国語科・算数科・理科すべての調査項目において、全国平均をかなり超えていました。右のグラフは本校の全国平均との差の経年変化を表しています。ほぼ右肩上がりになってきていますので、年々のレベルアップされてきていることが分かります。しかし、具体的な数値で表すことは学校間の競争等につながるため明らかにできませんので、ご容赦ください。中には問題によって、わずかですが全国平均を下回っているものがありました。その結果について、授業や学習に向けた改善のため、全国を下回っていた問題を中心に、簡単ですが次のように分析することができます。



各調査項目の全国平均との差の経年変化

まず国語Aです。全国平均より低かった問題は12問中3問ありました。「相手や場面に応じて敬語を使う」問題(裏面①参照)の正答率は全国平均より5ポイント程低くなっていました。「地域の人」と「自分の母」の両方に敬語を使うという誤答が、全国平均より12ポイントも高くなっていました。また、「品質のかん理」と「警察かん」の「かん」の漢字を同じにする誤答が全国より8ポイントも高い状況でした。

国語Bは8問中すべてが全国平均より高くなっていました。特に、「目的に応じて文章の内容を的確に押さえ自分の考えを明確にして読む」問題は、全国平均より15ポイント近くも高くなっていました。とてもよくできていて授業の成果が表れています。

次に算数Aです。全国平均より低かった問題は14問中1問でした。逆にその半分の7問は10ポイント以上も高くなっていました。低かった問題は、「3桁の整数どうしの大きさを比べ十の位に入る適切な数を求める」問題（裏面②参照）でしたが、差は1ポイント未満でした。一方、「分度器を用いて180°より大きい角の大きさを求める」問題（裏面③参照）は20ポイント近くも高くなっていました。

算数Bは全国平均より低かった問題は10問中1問でした。その中の6問は10ポイント以上も高く、本当によくできていました。低かった問題は、「棒グラフと帯グラフから読み取れることを適切に判断する」問題（裏面④参照）でした。この誤答として量（人数）と割合を混同して解答したものが10ポイント程高くなっていました。一方、よくできていた問題は、「横の長さが7mの黒板に輪飾りを付けるために必要な折り紙の枚数が100枚あれば足りることを、示された数量を関連付けて根拠を明確に記述する」問題で、全国平均より18ポイント程も高くなっていました。

最後に理科です。全国平均より低かった問題は16問中1問だけでした。その中の5問は10ポイント以上も高くなっていました。低かった問題は、「食塩水を熱したときの食塩の蒸発について実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述する」問題でした。

全般的に、6年生の子どもたちはよくがんばりました。特にA問題よりB問題の方がよくできていました。この結果は、6年4月の段階の学力を表したもので、課題については今後の授業で改善を図り、卒業までの半年できちんとした学力を付けて中学校に送り出したいものです。裏面に、問題の一部を掲載し



1年と6年とのペア交流・朝の本の読み聞かせ

ました。一度、解いてみると、現在問われる学力の一端が分かります。

最後に、この調査は生活意識を調べる質問紙調査も行っています。全国平均との差で顕著なものを紹介します。よい傾向にはなっていますが、この意識の改善が、今後のさらなる学力のレベルアップにつながってくる要素を持っていると思います。

- | | |
|---|----------|
| ○ 自分にはよいところがある。 | + 7. 6 p |
| ○ 学校の決まりを守っている。 | +19. 8 p |
| ○ 人の役に立つ人間になりたい。 | + 9. 3 p |
| ○ 家の人と学校の出来事について話をする。 | + 8. 4 p |
| ○ 朝食を毎日食べている。 | + 8. 6 p |
| ○ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。 | + 7. 9 p |
| ○ 家で宿題をしている。 | +10. 4 p |
| ○ テレビやインターネットでニュースを見ている。 | + 7. 2 p |
| ○ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができている。 | + 8. 3 p |
| ○ 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。 | +11. 7 p |
| ○ 理科の授業で、観察や実験の結果からどのようなことが分かったかを考えている。 | +12. 1 p |

② 算数A [正答率] 全国 76.4
本枝 75.8 △

次の3けたの整数の大きさを比べます。

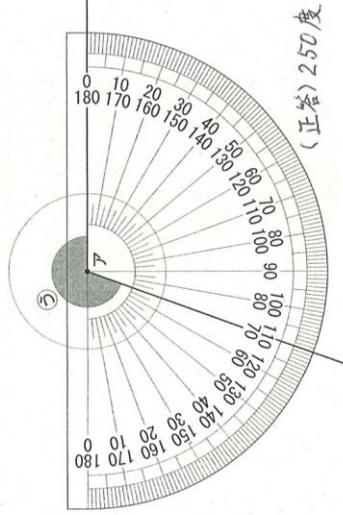
562 5□3

上の3けたの整数5□3の十の位には、まだ数字が入っていません。
5□3が562よりも大きい数になるとき、□には、どのような数字が
あてはまりますか。

0から9までの中で、あてはまる数字をすべて書きましょう。
(正答) 6, 7, 8, 9

③ 算数A [正答率] 全国 58.5
本枝 76.7 ◎

左ページの図4のときの角⑤の角度を、分度器を使ってはかります。
角⑤の角度は何度ですか。答えを書きましょう。



(正答) 250度

① 国語A
〔正答率〕 全国 56.0
本枝 50.8 △

石橋さんたちは、地域の人から仕事についての話を聞いています。次の【話を聞いている様子の一部】を読み、ア、イに入る内容の組み合わせとして最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

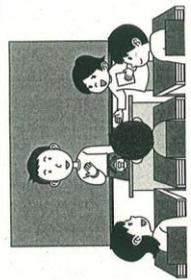
【話を聞いている様子の一部】

石橋さん みなさん、池田さんがア。今日は、おとうふ雇さんの仕事について、たくさん教えていただきました。池田さん、お願いします。

池田さん みなさん、こんにちは。
(池田さんの話を聞く)

石橋さん 池田さん、ありがとうございます。池田さんに質問のある人はいますか。

高野さん おとうふ雇さんは、朝早く起きなければならないので、とても大変だと私の母がイなのですが、池田さんはどうですか。

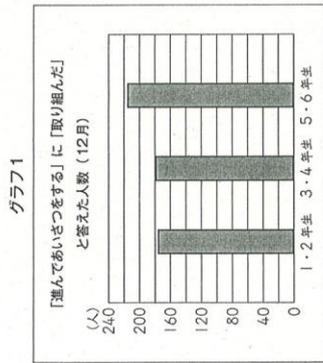


- 1 ア 来ました イ 言っていた
- 2 ア いらっしゃいました イ おっしゃっていた
- 3 ア 来ました イ おっしゃっていた
- 4 ア いらっしゃいました イ 言っていた

(正答) 4

④ 算数 B

しおりさんたちは、「進んであいさつをする」について、12月のアンケート調査の結果を、1・2年生、3・4年生、5・6年生に分けて調べました。そして、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数を、グラフ1に表しました。



しおり

「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん多いのは5・6年生です。

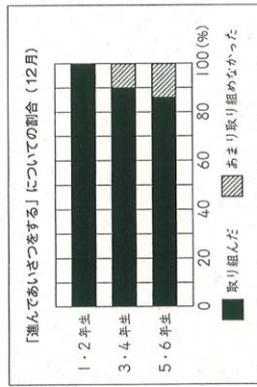


まさる

でも、1・2年生、3・4年生、5・6年生の学年の人数が、それぞれ175人、200人、250人と、ちがうので、「取り組んだ」と答えた人数の割合も調べてみませんか。

しおりさんたちは、1・2年生、3・4年生、5・6年生それぞれの、学年の人数をもとにしたときの「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合を求め、グラフ2に表しました。

グラフ2



(正答) ① ④

[正答率]
全国 23.9
本校 22.5 △

(誤答) ③ ④
[反応率]
全国 52.2
本校 62.5 △

(2) グラフ1とグラフ2を見て、次のようにまとめます。

・ 「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数が、いちばん少ないのは [②] です。

・ [②] の、「進んであいさつをする」に「取り組んだ」と答えた人数の割合は、いちばん [①] です。

上の②にあてはまるものを、下の1から3までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、上の①にあてはまるものを、下の4と5から選んで、その番号を書きましょう。

- ① 1 1・2年生
2 2 3・4年生
3 3 5・6年生

- ④ 4 小さい
5 大きい